

令和4年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書

施 設 概 要

施 設 名	大 阪 市 立 阿 倍 野 防 災 セ ン タ ー
所 在 地	大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目13番23号
団 体 名	一般財団法人大阪消防振興協会、株式会社ノムラメディアス大阪支店、 ジェイ・アクシス株式会社 共同事業体
代表者指定管理者	一般財団法人大阪消防振興協会
代 表 者	一般財団法人大阪消防振興協会 理事長 藤 井 茂 樹
主たる事務所の所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号

1 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針

阿倍野防災センター事業は、市民や企業の防災担当者等に災害時に必要な知識と技術を提供し、災害による被害の軽減につなげることが目的であり、共同事業体のそれぞれの専門性とノウハウのすべてを結集し、消防局が運営方針に掲げる市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現に向け、ともに取り組むことを方針としています。

(2) 職員の配置状況

ア 一般財団法人大阪消防振興協会

体験学習・研修訓練・企画広報・施設管理を効率的に運営できる職員を下記のとおり配置しています。

(ア) 防災センター長（協会職員）	1 名
(イ) 防災センター長代理（協会職員）	1 名
(ウ) 管 理 担当（協会職員）	1 名
(エ) 防災学習担当（協会職員）	1 名
(オ) 防災研修担当（協会職員）	1 名

イ 株式会社ノムラメディアス大阪支店

展示設備の定期保守点検や故障等の不具合発生時に、設備機器専門スタッフのうち必要人員を派遣し対応しています。

ウ ジェイ・アクシス株式会社

アテンド・スタッフを常時7名の配置で対応しています。

(3) 施設管理状況

ア 建物管理

建物施設及び防災センター周辺の維持管理については、年度協定書に基づき適正に管理しました。

イ 体験施設管理

年度協定書に基づく定期点検及び日常点検を実施しましたが、重大な不具合等はありませんでした。

ウ 関係機関との連携

(ア) 事務担当者会議等において、複合施設あべのフォルサ全体の施設管理として連携強化に努めました。

(イ) 施設管理等の連携及び防火・防災対策として実施した自衛消防訓練〔令和4年11月 7日(月)及び令和5年3月16日(木)〕において、防災活動の専門家として指導、アドバイスを行いました。

(ウ) あべのフォルサ合同で連携し毎月1回庁舎周辺の清掃活動を行い、環境改善による職場づくり、まちづくりに努めました。

(エ) 防災関係機関（海上保安庁・自衛隊・気象庁等）とのネットワークを構築し連携強化に努めました。

2 新型コロナウイルス感染予防対策

(1) 防災体験学習エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により学習エリアの展示場及びコース内容、所要時間、人数等に制限を設けて実施しましたが、令和3年12月からは、体験コース内容を部分的に戻していき、令和4年1月から来場予約者の制限は継続したままで、従来の内容による体験コースを再開しました。令和4年2月以降は人数制限も緩和し、令和4年度はコロナ禍以前の状況に戻しました。

具体的な感染予防対策は次のとおりです。

ア 来館者の入館に関しては、顔認証衛生システムでの検温及びアルコール手指消毒を実施しました。

イ アルコール自動手指消毒機を各エリアに設置しました。

ウ 施設内の各機器は定期的に消毒を実施しました。

エ 空気清浄機3台を運用し施設内の換気等に努めました。

オ 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等を定期的に洗濯、消毒し、清潔保持に努めました。

カ 職員及びアテンダントは、検温を始業前・中間・終業時に実施し健康管理に努めました。

(2) 防災研修訓練エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により顔認証衛生システムでの検温、アルコール手指消毒、換気等の感染対策を徹底し防災研修室等を貸し出しました。

3-1 防災体験学習エリア利用状況

- (1) 開館日数 300 日 (内臨時開館4日間)
- (2) 休館日数 65 日
- (3) 来館者数 51,943人

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)
4	1,907	25
5	4,649	26
6	4,477	24
7	4,598	26
8	4,407	29
9	4,858	25
10	4,903	26
11	5,781	24
12	4,095	24
1	3,654	23
2	4,380	23
3	4,234	25
計	51,943	300

一日の稼働時間 8 時間

延べ稼働時間 2,400時間

一日平均利用者 173.1 人

一時間平均利用者 22 人

新型コロナウイルス感染症対策で、コース内容、所要時間、人数等の一部制限を実施していましたが、令和4年度からコロナ禍以前に戻したことにより、前年度より来場者数が大幅に増加（約3倍）しました。

3－2 防災研修訓練エリア利用状況

- (1) 開場日数 308 日
- (2) 来場者数 24,768人

月別来場者数

月	来場者数(人)	開場日数(日)	
4	1,742	24	甲種防火管理新規講習 8,041 人
5	3,553	25	防火・防災新規講習 5,963 人
6	2,157	28	甲種防火管理再講習 502 人
7	1,923	25	教育担当者講習 119 人
8	2,382	23	自衛消防業務新規講習 4,659 人
9	2,002	30	自衛消防業務再講習 1,517 人
10	1,977	30	普通救命講習 527 人
11	1,749	23	消防局事業 416 人
12	1,637	23	イベント等 3,042 人
1	1,720	25	使用許可に係る研修会等 0 人
2	2,010	26	防災設備室等利用 0 人
3	1,916	26	
計	24,768	308	新型コロナウイルス感染症対策で受講人数 の制限を実施していましたが、前年度から緩 和していたことにより、前年度と同等の来館 者数となりました。

令和4年度阿倍野防災センター研修室使用予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木						1 自衛14			1 防災動員23				木
金	1			1 自衛9		2			2				金
土	2			2		3 防災動員11	1 甲種26		3 甲種34				土
日	3 救命講習1・2	1 甲種5		3		4	2		4	1 休館日			日
月	4	2		4		5	3		5 防対点再3	2 休館日			月
火	5	3			1	6	4		6 防対点再3	3 休館日			火
水	6	4	1 定期清掃	6	2	7 防災動員11	5	1	7 防対点再3	4 休館日	1 防対点再4	1 防対点再5	水
木	7	5	2	7 教育担当	3	8 防災動員11	6	2	8 自衛25	5 自衛28	2 防対点再4	2 防対点再5	木
金	8	6	3 自衛再2	8	4	9 自衛再12	7	3	9 甲種35	6	3 甲種42	3 甲種43	金
土	9	7	4 甲種10	9 甲種14	5	10 緊急イベント	8	5	10 甲種35	7	4	4 甲種46	土
日	10	8	5	10	6	11 救命講習13	9	6	11	8	5	5	日
月	11	9	6 自衛6	11 防災動員12	7	12 救命講習13	10	7 自衛再15	12 自衛再18	9 救命講習23・24	6 自衛32	6 甲種47	月
火	12	10	7 自衛7	12	8 自衛12	13 自衛15	11	8 甲種30	13 甲種36	10 甲種38	7 自衛32	7 甲種47	火
水	13	11	8 自衛再5	13 自衛再7	9 自衛12	14 防対点再2	12	9	14 甲種36	11	8 防対点再3	8 自衛再23	水
木	14	12	9 防災動員8	14 甲種15	11 救命講習11・12	15 甲種23	13	10 防災動員25	15 自衛26	12 防災動員31	9 防対点再3	9 防対点再3	木
金	15	13	10 甲種7	15 自衛再9	12 自衛再9	16 甲種23	14	11 防災動員25	16	13	10 防対点再3	10 防対点再3	金
土	16 甲種2	14 防災動員5	11 甲種11	16 救命講習8・10	13 甲種18	17 自衛16	15	12 防災動員22	17 防対点再3	14 甲種39	11 甲種43	11 自衛35	土
日	17	15	12	17 救命講習8・10	14 甲種18	18 自衛16	16	13 救命講習18・20	18 防対点再3	15	12 甲種43	12 自衛35	日
月	18	16	13 甲種12	18 自衛10	15 自衛13	19 自衛17	17 自衛再14	14 自衛再16	19 甲種37	16 自衛再20	13 防対点再3	13 自衛35	月
火	19	17	14 自衛4	19 自衛16	16 自衛13	20 自衛17	18 甲種28	15 自衛23	20 甲種37	17 自衛29	14 防対点再3	14 自衛36	火
水	20 定期清掃	18 自衛再4	15 自衛7	20 防災動員13	17 患者搬1	21 甲種24	19 甲種28	16 自衛23	21 自衛27	18 防対点再3	15 定期清掃	15 自衛36	水
木	21 防災動員3	19 防災動員6	16 自衛再1	21 防対点再1	18 甲種19	22 甲種24	20 防災動員22	17 防対点再3	22 自衛27	19 防対点再3	16 甲種44	16 甲種48	木
金	22	20	17 防対点再1	22 防対点再1	19	23 救命講習15・17	21	18 防対点再3	23 自衛再19	20 防対点再3	17 甲種44	17 甲種48	金
土	23 甲種4	21 甲種8	18 防災動員14	23 甲種16	20 防災動員14	24 甲種25	22	19 甲種31	24	21 甲種40	18 患者搬2	18 防対点再4	土
日	24	22	19 防災動員14	24 防災動員14	21 患者搬2	25 自衛25	23 自衛21	20 甲種31	25	22 自衛40	19 患者搬2	19 防対点再4	日
月	25	23	20 甲種13	25 防災動員14	22 甲種20	26 自衛再13	24 甲種21	21 甲種32	26	23 自衛30	20 自衛再22	20 自衛再24	月
火	26	24	21 自衛2	26 自衛再8	23 自衛再10	27 自衛18	25 甲種29	22 甲種32	27	24 自衛30	21 甲種45	21 救命講習25・27	火
水	27	25	22 自衛8	27 自衛再24	24 自衛再24	28 自衛18	26 甲種26	23 救命講習21・23	28 休館日	25 自衛再21	22 甲種45	22 自衛37	水
木	28	26	23 自衛17	28 甲種17	25 防災動員16	29 防災動員20	27 防災動員24	24 自衛24	29 休館日	26 甲種41	23 自衛33	23 自衛37	木
金	29 救命講習3・4	27 甲種9	24 自衛再6	29 甲種17	26 防災動員16	30 防災動員20	28 防災動員24	25 自衛24	30 休館日	27 甲種41	24 自衛33	24 自衛再25	金
土	30 甲種5	28	25 救命講習7・8	30 自衛11	27 甲種21		29	26 防対点再3	31 休館日	28 防対点再3	25 防対点再3	25 防対点再3	土
日		29	26 救命講習9・10	31	28 甲種21		30	27 防対点再3		29 防対点再3	26 防対点再3	26 防対点再3	日
月		30	27 防対点再1		29 防対点再1		31 防対点再2	28 甲種33		30 自衛31	27 自衛34	27 自衛34	月
火		31	28 防対点再1		30 防対点再1			29		31 自衛31	28 自衛34	28 自衛34	火
水			29 防対点再1		31 自衛再11			30 自衛再17				29 自衛38	水
木								自衛再17				30 自衛38	木
金					31 定期清掃		19 定期清掃		7 定期清掃			31	金

- 甲種防火管理新規講習(48回)
- 防火・防災管理新規講習(40回)
- 教育担当者講習(1回)
- ジュニアレスキュー
- キッズ&ユース
- 表彰式予定
- 救急課イベント
- 自衛新規講習(38回)
- 自衛再講習(25回)
- 防対点検再講習(5回)
- 防災点検再講習(3回)
- 救命講習(26回)
- 患者搬送業務定期講習(2回)
- KHK(1回)

4 成果指標の達成状況

大阪市立阿倍野防災センター管理業務基本協定書第3条に基づく成果指標の達成状況については次のとおりでした。

成果指標	達成度
防災体験学習エリア及び研修訓練エリア体験者のうち、「助かる力、助ける力が身に付くような知識技術を習得することができた」と答えた体験者の割合を全体験者の80%以上に保つこと。	99.1% *アンケート回答者数 6964人のうち『思う、やや思う』と答えた6901人

コロナ禍でコース内容、所要時間、人数の制限を実施していましたが、令和4年度からは制限を解除して再開したことにより来館者が増加し、アンケート回答数は前年度以上の回答を得ました。

5 実施事業・自主事業

(1) 主なイベントの開催

ア 「パパ・ママ応急手当教室」

育児中のお父さん、お母さん等を対象に心肺蘇生AEDの使い方、異物誤飲、止血など応急手当の普及に努めました。

令和4年6月25日、9月25日、11月19日、令和5年1月22日、令和5年3月19日 計42人参加

イ 「防火・防災かたりべの会」

元消防職員が、様々な災害活動を通じて得た体験を来館者に語りつなぎ防火・防災について考えてもらう機会を設けました。

令和4年7月25日、8月27日、11月22日、令和5年3月11日 計82人参加

ウ 「キッズ&ユース・ファイアーイベント」

将来の地域防災を担う人材の育成を図ることを目的に開催しました。

令和4年5月3日～令和4年5月5日 計1,672人参加

エ 「防災クイズチャレンジ」

防災クイズに広く参加してもらい、来館者に防災の知識を深めてもらいました。

令和4年7月23日～7月24日 計94人参加

オ 「シルバーエイジ・ファイヤーイベント」

高齢化社会に入り、独居高齢者世帯が増える中で火災や自然災害等から身を守るための普及啓発動画を作成しホームページで配信しました。

令和4年9月18日～令和3年9月24日

カ 「スプレー缶の怖さを知ろう」

スプレー缶の爆発を実験的に再現することにより危険性を再認識してもらい、火災等の事故発生の防止に努めました。

令和5年2月5日 33人参加

キ 「ローリングストック推進の防災講話&防災クッキング」

備蓄に関する知識を養い、自宅でできるローリングストックの考え方を理解してもらいました。

令和4年7月17日、令和5年 2月18日 計87人参加

ク 「あべのタスカル・サマーイベント2022」

消防局、自衛隊、海上保安庁、大阪管区気象台の協力のもとコラボイベントを開催し、各機関の最前線での活動状況等の理解を深めてもらいました。

令和4年8月4日～令和4年8月7日 計779参加

ケ 「阿倍野防災センターPR動画作成」

防災センターでの体験を理解しやすく、関心をもってもらえるようにPR動画を作成しました。

コ 「オンデマンドコンテンツ配信」

火災原因調査から得た暮らしの中に潜む火災危険について、燃焼実験を交えつつプロの視点からお伝えする20分の動画を作成し、あべのタスカルYouTubeチャンネルにアップしました。

(2) 防災特別展等の開催

ア 「防災週間特別展」

9月1日の「防災の日」を中心とした防災週間に合わせて、地震、台風等の自然災害に備えて、防災意識の向上を図りました。

令和4年8月30日～令和4年9月5日 計1,103人

イ 「津波防災の日・世界津波の日」特別展

11月5日の「津波防災の日・世界津波の日」にあたり、今後発生することが危惧される南海トラフ巨大地震等に備えて、防災意識の向上を図りました。

令和4年11月1日～令和4年11月7日 計1,491人

ウ 「防火・防災図画展」

大阪市消防局に優秀・佳作に選ばれた作品を展示し、子供たちの防火防災意識の向上を図りました。

令和4年11月3日～令和4年11月23日（休館日除く） 計4,819人

エ 「防災とボランティア週間」

市民の自主防災意識の向上及び防災ボランティア活動の普及を啓発しました。

令和5年1月15日～令和5年1月21日 計1,172人

(3) 報道機関等からの取材対応

各報道機関への取材協力

3件

情報誌への協力

6件

収 入 合 計 (A)		85,395,964
項 目	業 務 委 託 収 入	84,902,455
	自主事業1収入(防災用品販売手数料)	225,621
	自主事業2収入(自動販売機手数料)	267,888
支 出 合 計 (B)		85,132,956
項 目	人 件 費	52,300,947
	物 件 費	32,832,009
	水 道 光 熱 費	11,657,287
	賃 借 料	959
	通 信 費	724,557
	消 耗 品 費	1,734,275
	広 告 宣 伝 費	148,500
	外 注 費	11,040,863
	設 備 ・ 備 品 費	950,510
	そ の 他	6,575,058

7 その他

(1) サービスの向上

ア 体験コースの充実

- (ア) 従来のCコースをC（タスカルコース）、CⅠ、CⅡ（タスケルコース）に3分割し来館者のニーズに合うコースを増やしました。
- (イ) 事業所等に対し、屋内消火栓設備の使用方法を体験することを目的としたFコースを新設しました。
- (ウ) 防火防災に興味・関心を持っていただくことを目的として、タスカルARアプリケーション（拡張現実）を作成し、「備えを学ぶ」のエリアに顔出しパネルを設置しました。

イ 体験記録カードの発行

来館者の利用促進策として体験記録カードを発行し、来館時にもらえるスタンプが5個たまれば記念品を贈呈しました。（令和4年度 2名）

ウ「タスカルぶんこ」と称して、防災に関する参考本や絵本などを置き、広く来館者に読んで頂きました。

エ「避難所における感染防止対策」のパネルを作成し展示しました。

オ 夏休み等来館者が多数見込まれる期間に臨時開館を行い、来館者のニーズに対応しました。

カ 指導員全員が、防災士等の資格を取得し市民からの質問等に対応しました。

キ 歩行困難などの来館者に対して、車いすの貸し出しを行いました。

(2) 管理経費の節減

来館者の状況により、照明器具や空調機のこまめな電源オフに努め、消費電力の節約に努めました。

(3) 施設内安全管理及び衛生管理の向上

ア 入館時、来館者の検温及び手指消毒を行いました。

イ 手指消毒液容器を各エリアに設置しました。

ウ 施設内の各機器は定期的に消毒を行いました。

エ 抗菌・抗ウイルスコーティング済みの機器を適切に管理しました。

オ 空気清浄機3台を運用し施設内の換気等に努めました。

カ 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等は定期的に洗濯及び消毒を行いました。

(4) 利用者からの苦情・意見等

特記事項なし

(5) 研修実績

ア 人権研修・接遇研修

外部講師による研修を受講しました。なお、アテンダントなど未受講者へは防災センター長が教養を実施しました。

イ 教養研修

(ア) 国内での災害発生時には、防災情報の共有化を図りました。

(イ) 手話教室を定期的を開催し、聴覚障がい者へのスムーズな対応が図れるように努めました。

ウ コンプライアンス研修

防災センター長が必要に応じて実施しました。

(6) モニタリングの実施状況

ア コース体験後にアンケートを実施し、コース体験者の満足度等の把握に努めました。

イ ご意見箱を設置し、来館者の意見・要望等を受け満足度の向上に努めました。

(7) 個人情報保護への取組状況等

ア (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程の遵守

イ (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程取扱要綱に基づく事務処理の徹底

ウ 申込書等の個人情報については、事務室の施錠保管庫に適切に保管

エ その他

- ・ (一財)大阪消防振興協会コンプライアンス規程及び要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財)大阪消防振興協会内部通報に関する要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財)大阪消防振興協会インターネット及び電子メール適正使用に関する要綱等の制定(平成25年10月1日)

上記のとおり報告します。

指定管理者	所 在 地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号
	商号または名称	一般財団法人大阪消防振興協会
	代表者氏名	理事長 藤井 茂樹
	所 在 地	大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
	商号または名称	株式会社ノムラメディアス大阪支店
	代表者氏名	支店長 秋月 忍
	所 在 地	愛知県あま市七宝町川部出屋敷69番地
	商号または名称	ジェイ・アクシス株式会社
	代表者氏名	代表取締役 赤羽 徹